

新型コロナウイルス感染症に関する検査費用の一部助成

新型コロナウイルスの感染により、重症化するリスクの高い、高齢者や基礎疾患を持っている方に対し、本人の希望により検査を行う場合、検査費用の一部を助成します。

対象者／無症状で、市内に居住し、住民登録があり、次のいずれかに該当する方

- ①65歳以上の方(令和3年3月31日時点での年齢)
- ②基礎疾患を有する方(慢性閉塞性肺疾患・慢性腎臓病・糖尿病・高血圧・心血管疾患などで病院を受診している方、肥満(BMI30以上)の方など)

※①、②のいずれかに該当しても、発熱などの症状がある方や、濃厚接触者などの保健所による検査対象者は除く。

検査方法・自己負担額／PCR検査…3000円、抗原定量検査…2000円(年度内にいずれか1回のみ)

※いずれの検査も、唾液か鼻咽頭ぬぐい液をとって、感染を判定します。

受診方法／市に申し込み、発行された受診券を持参して、協力医療機関に予約のうえ受診

※結果が陽性の場合、保健所の指導のもと、入院・療養生活が必要となります。

申込方法／土浦市保健センターへ直接、電話、またはホームページから



申込期間／3月31日まで(電話、ホームページは18日まで)

2種混合(ジフテリア・破傷風)予防接種

2種混合予防接種は3種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風)予防接種の追加接種として実施しています。対象の方は早めに接種しましょう。

対象者／11歳～12歳

※予診票は、11歳誕生月の翌月上旬に郵送します。

接種期間／11歳～13歳の誕生日前日まで

接種回数／1回

接種場所／県内協力医療機関

持ち物／母子健康手帳、予診票、住所が確認できるもの(健康保険証など)

費用／無料(接種期間内に限ります)

※協力医療機関外で接種する場合は、公費助成額を上限に償還払いとなります。(事前連絡が必要)

※転入や紛失などで予診票をお持ちでない方は、母子健康手帳を持参のうえ健康増進課にて交付の手続きをお願いします。

12月の献血

日時／12月20日(日)

10:00～11:45、13:00～16:00

場所／イオンモール土浦(専門店北入口)

健康教室

コロナを含めた肺炎について

土浦市医師会
小貫琢哉(中高津クリニック)

肺炎は感染症(病原微生物が原因)か、そうでないかに分かります。通常、「肺炎」といえば、感染症の肺炎を指します。時折耳にする「間質性肺炎」は、感染症ではありません。感染症の肺炎は、細菌性(バイ菌)、ウイルス性、その他に分かります。細菌性肺炎は、結核を除いて、ほとんどが「ヒト-ヒト感染」を起こしません。総合病院では、大部屋で入院しているくらいです。特効薬は抗菌薬(抗生物質)になります。細菌性肺炎の約25%は肺炎球菌が原因といわれ、「肺炎球菌ワクチン」にて予防が可能です。

コロナ(新型コロナウイルス)の登場まで、ウイルス性肺炎は稀でした。コロナ患者さんの大半は、カゼ症状(発熱、鼻水、ノドの痛み、咳など)なので軽症です。ただし、「軽症コロナ」は、普通のカゼやインフルエンザとの区別がつきません。コロナの特徴として「嗅覚/味覚の障害」が有名ですが、頻度は高くないようです。

コロナの問題点は、感染力(あっという間に伝播する)

と致死率(約4%)です。10月末現在、ワクチンと特効薬は未完成です。今のところ、感染予防(ソーシャルディスタンス、マスク、手洗いなど)を徹底するしかありません。コロナ検査の代表はPCRです。抗原検査や抗体検査もありますが、正確性はPCRに劣ります。カゼ症状で医療機関を受診した際には、PCRについて相談されてもよいでしょう。インフルエンザ予防接種(ワクチン)は、間接的にコロナ対策に役立ちます。今季は、例年以上にインフルエンザ予防接種をお勧めします。

コロナに感染しても、大半の患者さんは自然治癒します。重症化しやすい人たち(高齢者、心疾患、慢性肺疾患、糖尿病、がんの合併など)に感染させないことが重要です。もし、コロナ感染が確認された場合には、慌てず、保健所や医療機関の指示に従ってください。繰り返しになりますが、今後も「感染予防の徹底」をお願いします。